

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	30-03-01
原子炉建屋内	RB	RB	3		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、自動化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他

内容 遠隔操作設備設置時の遮へい

作業場所 1号機原子炉建屋5FL(オペフロ) 周り

概略 オペフロに堆積しているガレキ等を遠隔工法で撤去するため、原子炉建屋周りに遠隔操作のための電源・通信設備を設置する。

評価 (定性・定量)	効果	対策前		対策後	
		被ばく線量(mSv)	21.0/8.0	1.0/4.0	
		人工数(人日)	--	--	

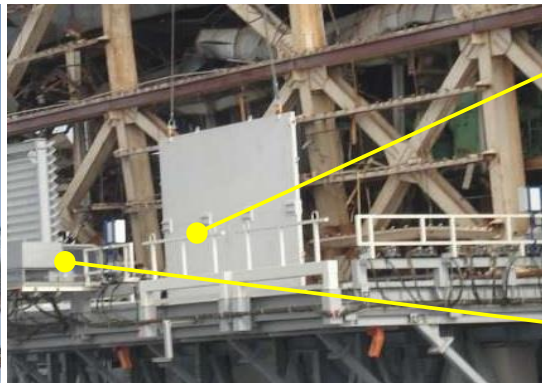
事例詳細

対策前 作業床での線量率が高線量率であった。

対策内容 梁強度の関係から全面的な遮へい設置が不可となったため、作業エリアとなる場所にクレーンで遮へい体を吊って作業場所の線量率低減を図った。



南作業床吊り遮へい状況



遮へい前→後
21.0mSv/h
↓
1.0mSv/h

遮へい前→後
8.0mSv/h
↓
4.0mSv/h

作業エリアの雰囲気線量率が低減

遮へい体厚さ: 80mm
同質量 : ~700kg